総合的な探究の時間「弟子屈探究」　２学年

【探究メソッド（応用)】

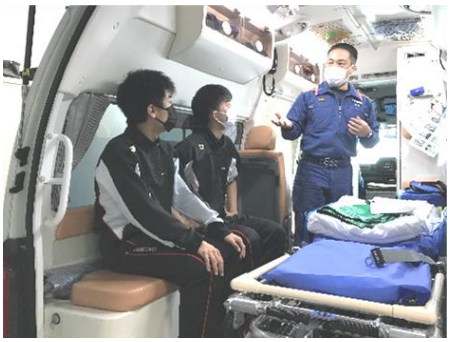
●探究メソッド（応用）

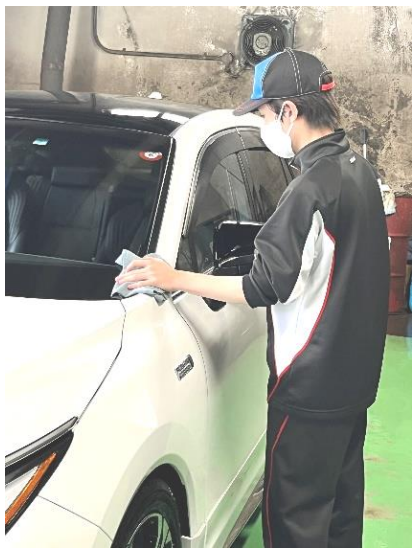
「RESAS 学習」「お礼状の書き方・電話のかけ方」「発表を行う Point」など、探究活動を進めて行く上で必要な知識・技能について学習し、理解を深めた。

【自己探究　Stage Ⅰ】

●職場実習

地域の職業人と協働し、「仕事図鑑」の作成を通して地域の仕事と自分の関わりについて探究する活動を実施した。





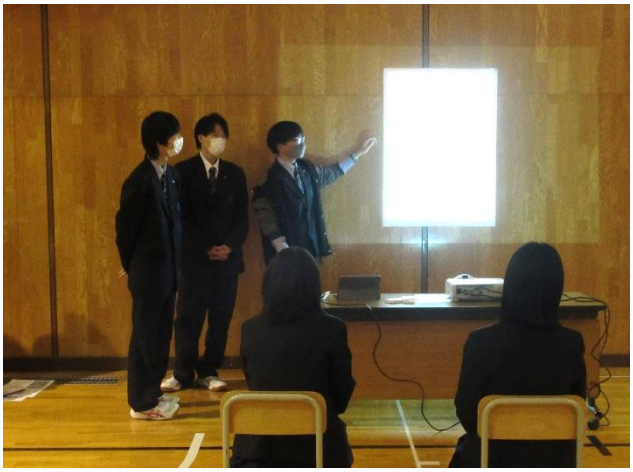
【地域探究　Stage２】

●テーマに応じたグループ別探究活動（探究活動発表資料については別紙資料②参照）

　探究課題（テーマ）について、地域資源の活用や地域人材にインタビューやアンケートを行ったり、地域イベントを企画から連携したりなど、主体的な探究活動を行った。

●１・２学年弟子屈探究中間報告会「自彊不息の日」

これまでの探究活動の過程や成果を報告し、意見交流することで、２年生は、次年度の成果発表会に向けての取り組みや課題について考察し指針を立てた。



●和歌山大学講演

和歌山大学観光学部　教授　竹　林　浩　志　様、出　口　竜　也　様、
標茶町役場観光商工課地域おこし協力隊　炭　田　晃　希　様　他

① 大学での研究の方法について学ぶことにより、探究活動に対する心構えや進め方について理解を深める。

② 弟子屈観光塾の活動を知ることにより、郷土の魅力を再認識し、豊かな地域社会を築くために積極的に寄与する意欲の高揚を図る。

上記２点を目的として実施予定（令和６年３月１９日）